

みつみ福祉会情報誌

フォーミー・トウミー

2021年7月 vol.42



Contents

理事長挨拶	理事長 吉見直人	…	2
新人紹介		…	3
令和2年度 苦情受付状況		…	4
資金収支計算書		…	5
事業活動計算書		…	6
貸借対照表		…	7
会計監査人監査報告書		…	8



安全の確保と安心のご提供

理事長 吉見直人

前回の本誌41号で就任のご挨拶をさせていただいたばかりですが、この度、6月末に役員改選があり、改めて理事長の大役を拝命しました。未熟者ではございますが、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

就任のご挨拶でも一部触れさせていただきましたように、今後ますます周辺地域の人口減少が現実的となる中で、「事業の継続性、公益性と、健全な財務管理」を法人経営の両輪として、持続可能な事業運営の在り方についてしっかりと検討してまいります。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大により、日本では緊急事態宣言が昨年度と今年度をまたいで4度発令されました。全世界を震撼させているウイルスですが、ワクチンの開発と接種により、「ウイズコロナ、アフターコロナ」に現在、世界中が希望を託している状況です。

そのような中、日本では、「オリンピック・パラリンピック」がいよいよ7月から東京をはじめとする各地で開催されます。本来なら、選手はもちろんのこと、全国民、全世界が最高のステージで繰り広げられる選手たちの最高のパフォーマンスに興奮し、感動し、心躍らせる大会となるところですが、世界各地では、まだまだ感染拡大の収束が見いだせない中で、また、全世界の様々な思惑が交錯する中での開催に、オリンピック・パラリンピック精神に照らしていかかが、との声が多くあるようです。開催される以上、開催の安全性の確保が必要不可欠となります。これ以上、コロナによる犠牲者が出ないことを切に願います。

安全性の確保については、福祉の現場でも同様です。対人援助だからこそ、事業所をご利用いただくすべての皆様に安全（具体的に効果のある環境を提供する）を確保し、すべての皆様に安心（ご利用者の主観）「利用してよかった」というお声が聞ける法人であり続ける社会的責任を果たしてまいります。以下に役員を紹介いたします。ご指導ご鞭撻のほど、重ねてよろしくお願いいたします。

役員紹介



評議員	野路修 (重任)
	常石文子 (重任)
	根垣万里子 (重任)
	小林伸 (重任)
	楠戸良弘 (重任)
	和田克昭 (新任)
	足立宣孝 (新任)
理事	吉見直人 重任 (常勤) 理事長
	三村明 重任 (常勤)
	関真博 重任 (常勤)
	山根祥和 重任 (常勤)
	藤本喜章 重任 (非常勤)
	夜久豊基 重任 (非常勤)
監事	大柿日出樹 (重任)
	雀部幸雄 (新任)

新人紹介

どうぞよろしくお願ひします

藤原 裕士 | 特別養護老人ホームおがわの里



4月から特別養護老人ホームおがわの里で、正規職員として勤務させていただいている藤原裕士（ふじわらひろし）です。ご利用者が安心、安全に暮らして頂ける方法を施設全体で、日々模索しながらケアを行っています。ご利用者の生活の一部に携われることに日々喜びを感じつつ、個人としても、広い視野を持ったケアができるようにこれからも頑張っていきます。よろしくお願ひします。

広い視野を持ったケアができるように!



中村久美子 | サポートハウスけいあい



今年の4月から、サポートハウスけいあいにて調理員として勤務させていただいております、中村久美子（なかむらくみこ）です。先輩職員とチームワークを図り、ご利用者の方に満足いただける食事提供を行い責任感をもって日々の調理業務に取り組みられるように頑張ります。よろしくお願ひします。

満足いただける食事提供!



中田美知代 | わかばこども園



わかばこども園で勤務させていただいております、中田美知代（なかたみちよ）です。4月から入職し、あっという間に4ヶ月が経ちました。

仕事はもちろんですが、まずは子ども達や保護者、先生方のお名前などなど、覚えることがたくさんあり脳をフル回転させている毎日です。

コロナウイルスの流行で思うようにコミュニケーションがとれず、ソーシャルディスタンスを求められる今だからこそ、子ども達に寄り添い、「心は密に!」過ごしていきたいと思ひます。

心は密に!



和田 歩 | 春日学園



4月から春日学園でお世話になっております和田歩（わだあゆむ）です。仕事では、新しい体験や発見が毎日あり、楽しく仕事に取り組んでいます。まだまだ分からないことばかりなのでご利用者の方たちと一緒に日々、成長していきたいと思ひます。今後も初心を忘れずにご利用者の方たちに寄り添える支援者を目標に努めていきます。よろしくお願ひします。

初心を忘れず寄り添う心を大切に!



奥野 愛海 | 認定こども園みつみ



入職1年目の奥野愛海（おくのあみ）です。4月から認定こども園で働き始め、子どもたちとたのしく生活しています。子どもたちと保護者の皆様のお名前を覚えるのが大変ですが、「いつも楽しく」をモットーに頑張っています。子どもたちはとてもかわいいです。

子どもたちの成長に関われることを誇りに感じながら、たくさんのお名前を学びたいと思ひます。よろしくお願ひします。

いつも楽しく



令和2年度 苦情受付状況

令和2年度中に各事業所で受け付けた苦情などについて記載の通りとなりました。いずれのケースも状況をお尋ねして、対応について振り返り、業務の改善につながるように心がけました。

件数	種別	苦情の内容	件数	種別	苦情の内容
1	障害児・者支援サービス	子供の帰省制限、面会制限について	31	高齢者支援サービス	行政からの書類について
2		後見人としての業務について	32		利用者への言動について
3		発送物の取り扱いについて	33		食堂の献立の張り出しについて
4		地域の方よりご利用者の行動について	34		テレビの音量について
5		投薬について	35		テレビの音量について
6		車椅子の故障について	36		職員の言動について
7		職員のあいさつについて	37		洗い場の椅子について
8		通所帰宅時の衣服、身体の汚れについて	38		脱衣場内の掃除について
9		通所利用時の怪我について	39		所有物の他者の持ち去りについて
10		通所利用時の連絡物について	40		ホーム喫茶の注文時間について
11		就労事業所での職員の言動について	41		所有物について
12		理髪について	42		浴槽の汚れについて
13		公用車の運転速度について	43		入浴時の使用方法について
14		職員の食事の際の促し方、話し方について	44		風呂場の汚れについて
15	高齢者支援サービス	短期入所利用時の怪我について	45	保育支援サービス	食席について
16		職員の言動について	46		居室前の手すりの使用について
17		入浴の際の対応について	47		早朝の掃除機の使用について
18		送迎時間について	48		面会制限中の心配事について
19		公用車の駐車場所について	49		家族への贈り物について
20		公用車の駐車場所について	50		職員の電話対応について
21		荷物・書類の間違い、衛生用品について	51		体温計について
22		帰宅した際の服装について	52		職員の言動について
23		帰宅後の家の様子について	53		ナースコールへの対応について
24		トイレの汚れについて	54		アレルギー食の対応について
25		利用者間のトラブルについての報告について	55		通園バスの添乗員の対応について
26		テレビの音量について	56		園だよりについて
27		椅子が濡れていたことについて	57		食維持中の対応について
28		お風呂場での職員の対応について	58		飲料水について
29		名前がなかったことについて	59		コロナ禍での行事の運営について
30		夜中大きな声が聞こえることについて			

令和2年度 事故報告

内訳

令和2年度 まとめ	
ご利用者からの苦情	24件
ご家族からの苦情	26件
地域・業者等の方からの苦情	5件
その他	4件
合計	59件

内訳

令和2年度 事故報告まとめ	
障害関係事業所	24件
高齢関係事業所	26件
合計	50件
ご利用者の事故	41件
職員の事故	9件
合計	50件
転倒・転落等による骨折事故	31件
誤嚥による窒息事故	3件
公用車・私用車による事故	6件
その他の事故	10件
合計	50件

資金収支計算書

(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)	備考
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	[826,333,000]	[829,988,262]	[△ 3,655,262]	
	老人福祉事業収入	[313,371,000]	[313,244,409]	[126,591]	
	児童福祉事業収入	[46,577,000]	[48,216,258]	[△ 1,639,258]	
	保育事業収入	[351,469,000]	[352,296,548]	[△ 827,548]	
	就労支援事業収入	[55,442,000]	[60,374,144]	[△ 4,932,144]	
	障害福祉サービス等事業収入	[1,799,032,000]	[1,788,684,957]	[10,347,043]	
	運営事業収入	[38,620,000]	[38,321,458]	[298,542]	
	借入金利息補助金収入	[4,645,000]	[4,649,372]	[△ 4,372]	
	経常経費寄附金収入	[6,549,000]	[7,657,427]	[△ 1,108,427]	
	受取利息配当金収入	[220,000]	[219,066]	[934]	
	その他の収入	[10,045,000]	[11,234,923]	[△ 1,189,923]	
	事業活動収入計 (1)	3,452,303,000	3,454,886,824	△ 2,583,824	
	支出				
人件費支出	[2,252,183,000]	[2,215,959,729]	[36,223,271]		
事業費支出	[457,702,000]	[431,800,728]	[25,901,272]		
事務費支出	[320,712,000]	[303,040,913]	[17,671,087]		
就労支援事業支出	[70,307,000]	[72,198,701]	[△ 1,891,701]		
利用者負担軽減額	[1,727,000]	[1,341,904]	[385,096]		
支払利息支出	[13,364,000]	[13,211,866]	[152,134]		
その他の支出	[4,297,000]	[4,080,184]	[216,816]		
事業活動支出計 (2)	3,120,292,000	3,041,634,025	78,657,975		
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	332,011,000	413,252,799	△ 81,241,799		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	[23,796,000]	[23,227,450]	[568,550]	
	施設設備等収入計 (4)	23,796,000	23,227,450	568,550	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出	[168,144,000]	[168,142,000]	[2,000]	
	固定資産取得支出	[75,593,000]	[74,245,956]	[1,347,044]	
	固定資産除却・廃棄支出	[3,496,000]	[3,500,234]	[4,234]	
ファイナンス・リース債務の返済支出	[36,231,000]	[35,718,170]	[512,830]		
その他の施設整備等による支出	[1,398,000]	[1,397,000]	[1,000]		
施設整備等支出計 (5)	284,862,000	283,003,360	1,858,640		
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	△ 261,066,000	△ 259,775,910	△ 1,290,090		
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	[157,850,000]	[161,437,287]	[△ 3,587,287]	
	その他の活動収入計 (7)	157,850,000	161,437,287	△ 3,587,287	
	支出				
	長期運営資金借入金元金償還支出	[29,565,000]	[29,564,000]	[1,000]	
積立資産支出	[196,909,000]	[245,162,451]	[△ 48,253,451]		
その他の活動支出計 (8)	226,474,000	274,726,451	△ 48,252,451		
その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	△ 68,624,000	△ 113,289,164	44,665,164		
予備費支出 (10)	[0]	-----	[0]		
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	△ 2,321,000	40,187,725	△ 37,866,725		
前期未支払資金残高 (12)	[856,609,377]	[856,609,377]	[0]		
当期未支払資金残高 (11) + (12)	858,930,377	896,797,102	△ 37,866,725		

事業活動計算書

(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)-(B)	
サービス活動増減の部	収益				
	介護保険事業収益	[829,988,262]	[833,821,605]	[△ 3,833,343]	
	老人福祉事業収益	[313,244,409]	[326,008,100]	[△ 12,763,691]	
	児童福祉事業収益	[48,216,258]	[50,127,474]	[△ 1,911,216]	
	保育事業収益	[352,296,548]	[360,657,047]	[△ 8,360,499]	
	就労支援事業収益	[60,374,144]	[66,543,462]	[△ 6,169,318]	
	障害福祉サービス事業収益	[1,788,684,957]	[1,772,504,390]	[16,180,567]	
	運営事業収益	[38,321,458]	[39,772,176]	[△ 1,450,718]	
	経常経費寄附金収益	[7,657,427]	[5,940,529]	[1,716,898]	
	その他の収益	[248,671]	[22,000]	[226,671]	
	サービス活動収益計(1)	3,439,032,134	3,455,396,783	△ 16,364,649	
費用	人件費	[2,213,793,757]	[2,215,744,641]	[△ 1,950,884]	
	事業費	[431,550,728]	[433,697,262]	[△ 2,146,534]	
	事務費	[303,148,913]	[327,865,057]	[△ 24,716,144]	
	就労支援事業費用	[72,053,240]	[66,803,055]	[5,250,185]	
	利用者負担軽減額	[1,341,904]	[1,533,684]	[△ 191,780]	
	減価償却費	[361,258,888]	[357,112,622]	[4,146,266]	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	[△ 153,149,412]	[△ 156,108,008]	[2,958,596]	
	徴収不能引当金繰入	[110,393]	[55,000]	[55,393]	
	サービス活動費用計(2)	3,230,108,411	3,246,703,313	△ 16,594,902	
	サービス活動増減差額(3) = (1)-(2)	208,923,723	208,693,470	230,253	
サービス活動外増減の部	収入				
	借入金利息補助金収益	[4,649,372]	[5,572,202]	[△ 922,830]	
	受取利息配当金収益	[219,066]	[257,905]	[△ 38,839]	
	その他のサービス活動外収益	[18,694,700]	[25,698,746]	[△ 7,004,046]	
		サービス活動外収益計(4)	23,563,138	31,528,853	△ 7,965,715
支出	支払利息	[13,211,866]	[14,989,963]	[△ 1,778,097]	
	その他のサービス活動外費用	[13,062,545]	[10,579,103]	[2,483,442]	
	サービス活動外費用計(5)	26,274,411	25,569,066	705,345	
	サービス活動外増減差額(6) = (4)-(5)	△ 2,711,273	5,959,787	△ 8,671,060	
	経常増減差額(7) = (3)+(6)	206,212,450	214,653,257	△ 8,440,807	
特別増減の部	収益				
	施設設備等補助金収益	[23,227,450]	[29,358,270]	[△ 6,130,820]	
	固定資産売却益	[0]	[99,999]	[△ 99,999]	
		特別収益計(8)	23,227,450	29,458,269	△ 6,230,819
	費用	固定資産売却損・処分損	[3,500,237]	[294,031]	[3,206,206]
国庫補助金等特別積立金積立額		[23,227,450]	[29,281,730]	[△ 6,054,280]	
	特別費用計(9)	26,727,687	29,575,761	△ 2,848,074	
	特別増減差額(10) = (8)-(9)	△ 3,500,237	△ 117,492	△ 3,382,745	
	当期活動増減差額(11) = (7)+(10)	202,712,213	214,535,765	△ 11,823,552	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	[1,478,088,154]	[1,540,526,018]	[△ 62,437,864]	
	当期末繰越活動増減差額(13) = (11)+(12)	1,680,800,367	1,755,061,783	△ 74,261,416	
	基本金取崩額(14)	[0]	[0]	[0]	
	その他の積立金取崩額(15)	[149,804,534]	[54,579,391]	[95,225,143]	
	その他の積立金積立額(16)	231,616,000	331,553,020	△ 99,937,020	
	次期繰越活動増減差額(17) = (13)+(14)+(15)-(16)	1,598,988,901	1,478,088,154	120,900,747	

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
資産の部	流動資産	1,045,542,839	1,014,018,995	31,523,844
	現金預金	608,375,383	533,078,379	75,297,004
	事業未収金	399,985,981	422,649,024	△ 22,663,043
	未収金	650,040	324,860	325,180
	未収補助金	23,734,427	41,143,940	△ 17,409,513
	商品・製品	114,630	192,128	△ 77,498
	原材料	1,026,481	771,099	255,382
	立替金	2,579,340	1,666,316	913,024
	前払費用	9,364,803	14,371,102	△ 5,006,299
	徴収不能引当金	△ 288,246	△ 177,853	△ 110,393
	固定資産	6,136,308,757	6,332,215,936	△ 195,907,179
	基本財産	3,904,686,802	4,159,019,781	△ 254,332,979
	土地	303,804,423	303,804,423	0
	建物	3,600,882,379	3,855,215,358	△ 254,332,979
	その他の固定資産	2,231,621,955	2,173,196,155	58,425,800
	土地	10,765,322	10,765,322	0
	建物	59,808,595	47,495,624	12,312,971
	構築物	109,349,972	125,944,121	△ 16,594,149
	車輛運搬具	26,706,456	38,266,536	△ 11,560,080
	器具及び備品	148,904,584	123,622,271	25,282,313
	建設仮勘定	0	3,153,600	△ 3,153,600
	有形リース資産	115,226,510	136,741,430	△ 21,514,920
	権利	82,471,755	85,780,739	△ 3,308,984
	ソフトウェア	1,569,721	555,431	1,014,290
	無形リース資産	26,926,226	36,282,241	△ 9,356,015
	投資有価証券	165,000	165,000	0
退職給付引当資産	100,947,942	97,217,934	3,730,008	
長期預り金積立資産	4,350,000	4,250,000	100,000	
施設整備積立資産	1,496,301,259	1,418,489,793	77,811,466	
災害対策積立資産	42,006,613	38,006,613	4,000,000	
差入保証金	5,936,000	6,045,500	△ 109,500	
長期前払費用	186,000	414,000	△ 228,000	
資産の部 合計	7,181,851,596	7,346,234,931	△ 164,383,335	
負債の部	流動負債	359,824,504	383,433,405	△ 23,608,901
	事業未払金	57,240,683	61,300,464	△ 4,059,781
	1年以内返済予定設備資金借入金	117,110,000	121,242,000	△ 4,132,000
	1年以内返済予定長期運営資金借入金	7,736,000	9,464,000	△ 1,728,000
	1年以内返済予定リース債務	31,669,536	33,338,215	△ 1,668,679
	未払費用	78,914,588	89,224,645	△ 10,310,057
	預り金	410,156	3,348,597	△ 2,938,441
	職員預り金	10,329,295	1,539,553	8,789,742
	前受収益	998,150	1,210,985	△ 212,835
	賞与引当金	55,416,096	62,764,946	△ 7,348,850
	固定負債	1,088,031,864	1,301,030,934	△ 212,999,070
	設備資金借入金	788,541,000	952,551,000	△ 164,010,000
	長期運営資金借入金	59,412,000	87,248,000	△ 27,836,000
	リース債務	110,901,056	138,936,961	△ 28,035,905
	退職給付引当金	124,827,808	118,044,973	6,782,835
長期預り金	4,350,000	4,250,000	100,000	
負債の部 合計	1,447,856,368	1,684,464,339	△ 236,607,971	
純資産の部	基本金	571,724,796	571,724,796	0
	国庫補助金等特別積立金	2,024,973,659	2,155,461,236	△ 130,487,577
	その他の積立金	1,538,307,872	1,456,496,406	81,811,466
	施設整備積立金	1,496,301,259	1,418,489,793	77,811,466
	災害対策積立金	42,006,613	38,006,613	4,000,000
	次期繰越活動増減差額	1,598,988,901	1,478,088,154	120,900,747
	(うち当期活動増減差額)	202,712,213	214,535,765	△ 11,823,552
純資産の部 合計	5,733,995,228	5,661,770,592	72,224,636	
負債及び純資産の部合計	7,181,851,596	7,346,234,931	△ 164,383,335	

独立監査人の監査報告書

令和3年6月10日

社会福祉法人みつみ福祉会
理事会 御中

公認会計士 前原啓二事務所
兵庫県神戸市
公認会計士 前原 啓二

<計算関係書類監査>

監査意見

私たちは、社会福祉法第45条の28第2項第1号及び社会福祉法施行規則第2条の30第1項の規定に基づき、社会福祉法人みつみ福祉会の令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度の計算関係書類(社会福祉法人会計基準第7条の2第1項第1号に規定する法人単位貸借対照表、同項第2号イ(1)に規定する法人単位資金収支計算書、同号ロ(1)に規定する法人単位事業活動計算書及び社会福祉法人会計基準第29条第1項に規定する法人全体についての計算書類に対する注記並びにそれらに対応する附属明細書(社会福祉法人会計基準第30条第1項第1号から第3号まで及び第6号並びに第7号に規定する書類に限る。)の項目をいう。以下同じ。)について監査を行った。

私たちは、上記の計算関係書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠して、当該計算関係書類に係る期間の財産、収支及び純資産の増減の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私たちの責任は、「計算関係書類の監査における監査人の責任」に記載されている。私たちは、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

計算関係書類に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠して計算関係書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算関係書類を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算関係書類を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき計算関係書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

計算関係書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算関係書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算関係書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算関係書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、

監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 計算関係書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 理事者が継続事業を前提として計算関係書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類の注記事項が適切でない場合は、計算関係書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。
- 計算関係書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算関係書類の表示、構成及び内容、並びに計算関係書類が基礎となる取引や会計事象を適切に表示しているかどうかを評価する。監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

<財産目録に対する意見>

財産目録に対する監査意見

私たちは、社会福祉法第45条の19第2項及び社会福祉法施行規則第2条の22の規定に基づき、社会福祉法人みつみ福祉会の令和3年3月31日現在の令和2年度の財産目録(社会福祉法人会計基準第7条の2第1項第1号イに規定する法人単位貸借対照表に対応する項目に限る。以下同じ。)について監査を行った。

私たちは、上記の財産目録が、全ての重要な点において、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠しており、法人単位貸借対照表と整合して作成されているものと認める。

財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠するとともに、法人単位貸借対照表と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠しており、法人単位貸借対照表と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

利害関係

法人と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

あとがき

中学3年生の娘が9月に予定されている修学旅行について今から荷物や持ち物の準備など楽しそうに話かけてきます。行き先や宿泊先のホテルなどネットで調べ自慢してくる娘と昔、学生であったころの自分に当時の想いを重ね合わせていました。楽しかった思い出や体験したことなど当時の懐かしい思い出が蘇り、自分のことのようにワクワクしながら学校の便りに目を向けると当時の2倍ほどの小遣いの金額となっており、一気に学生気分から現実に戻されました。楽しそうに話す娘の姿を見てコロナの影響を受けず、計画通りに修学旅行が開催され良い思い出になるようにと親として祈るばかりです。

みつみ福祉会情報誌

フォーミー・トゥーミー vol.42
2021.7月発行

発行所：社会福祉法人 みつみ福祉会
発行人：吉見 直人
〒669-4132
兵庫県丹波市春日町野村 65-1 番地
TEL 0795-75-0314
FAX 0795-75-1694
URL <http://www.mitsumi.or.jp>

